

株主のみなさまへ

第113期 中間報告書

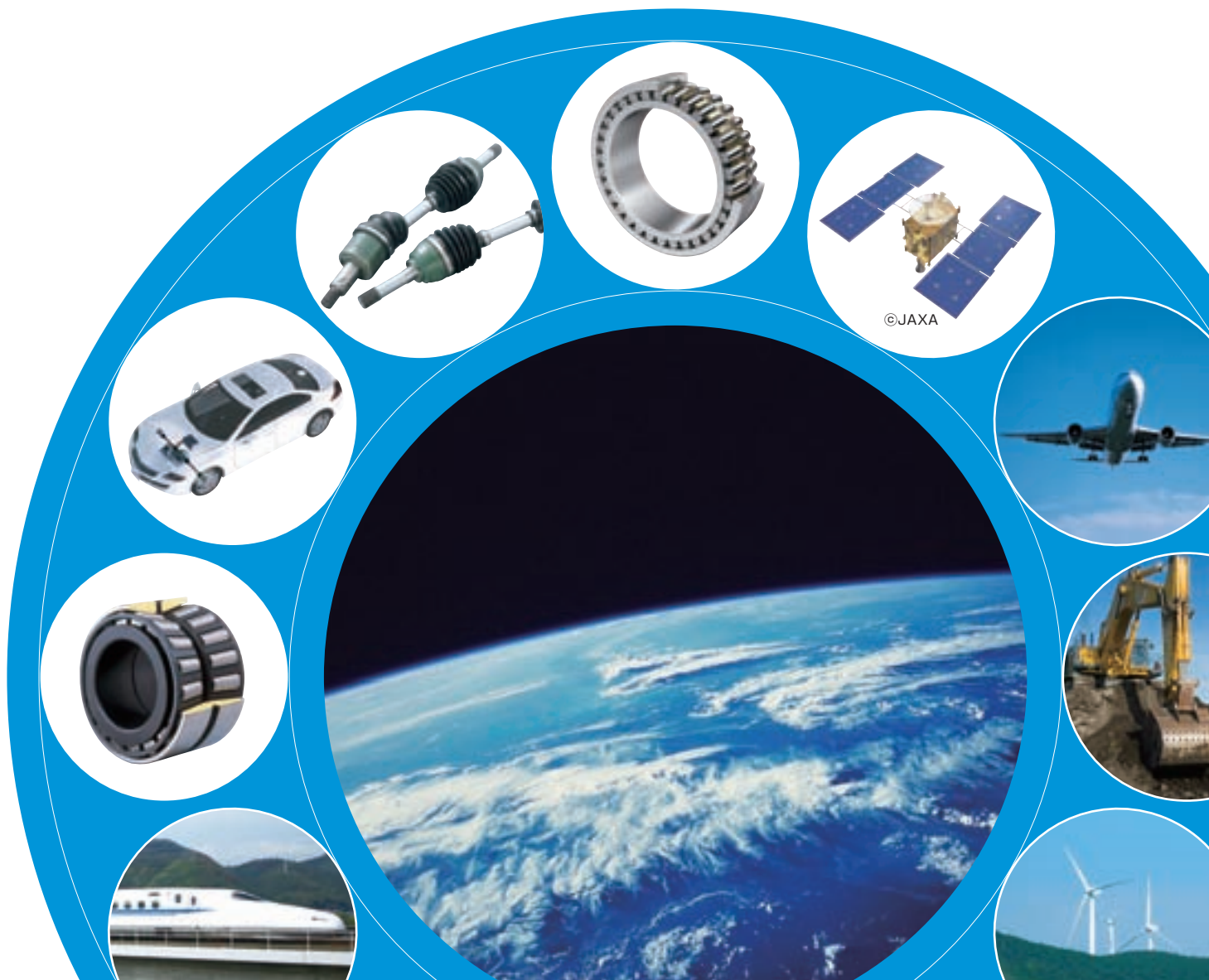
平成23年4月1日～平成23年9月30日

For New Technology Network

**NTN**<sup>®</sup>

NTN 株式会社

証券コード | **6472**



## 「現地・現物・現人」による グローバル化の加速

- 現地で、現地の設備や材料を用いて、現地の人で経営できる体制を確立し、成長市場を中心にグローバルに事業を拡大
- 新技術による新事業の創出、世界No. 1 事業の確立

### 当社の企業理念

新しい技術の創造と新商品の開発を通じて  
国際社会に貢献する  
(For New Technology Network :  
新しい技術で世界を結ぶ)

- ◎ 独創的技術の創造
- ◎ 客先及び最終消費者に適合した付加価値技術及びサービスの提供
- ◎ 着実な業績の伸長の下での社員の生活向上、株主への利益還元、社会への貢献
- ◎ グローバリゼーションの推進と国際企業にふさわしい経営・企業形態の形成

#### 目次

|                |   |           |    |
|----------------|---|-----------|----|
| トップインタビュー      | 2 | 連結財務諸表    | 11 |
| 次世代EVシステム事業の展開 | 5 | 新商品・新技術情報 | 13 |
| セグメント別の概況      | 7 | 会社情報      | 14 |
| 事業形態別の概況       | 9 | 株式情報      | 14 |

#### <見直しに関する注意事項>

本報告書には、NTNの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は本報告書で述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おください。

NTNは、軸受（ベアリング）を主力商品とする精密機器メーカーです。

1918年の創業以来、自動車をはじめ建設機械、航空機、鉄道車両、風力発電機に加え、医療や環境など幅広い分野で新商品を展開しています。



# グローバルな観点から「現地・現物・現人」体制を確立し、成長市場を中心に事業拡大を加速

Q

当第2四半期の経営成績についてお聞かせください。

A

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）における日本経済は、東日本大震災の影響から回復の動きがみられましたが、円高の長期化などにより先行き不透明な状況で推移しております。海外経済につきましては、全体として回復のテンポが緩やかになっております。

このような環境のもと、当社グループは本年4月にスタートした3年間の中期経営計画「躍進2013」の達成に向け、成長市場を中心にグローバルに事業を拡大すると共に、産業機械、補修・市販市場への拡販を推進しております。

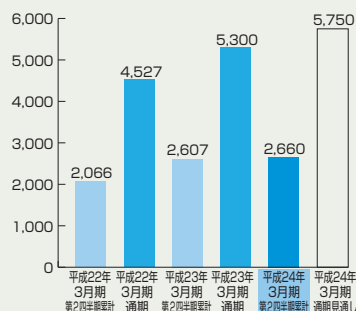
当第2四半期連結累計期間の売上高は、266,066百万円（前年同期比2.0%増）となりました。損益につきましては、販売増加の効果などにより、営業利益は10,722百万円（前年同期比2.3%増）、経常利益は8,652百万円（前年同期比0.5%増）となりました。なお、特別損失として地震関連費用743百万円、投資有価証券評価損740百万円、事業再編費用580百万円などを計上した結果、四半期純利益は3,725百万円（前年同期比48.7%減）となりました。



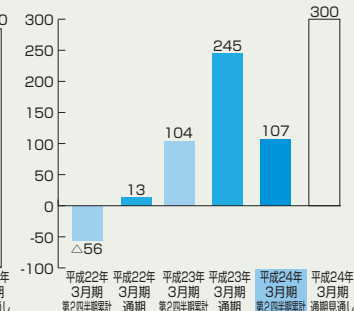
代表取締役会長 鈴木 泰信 代表取締役社長 高木 重義

## 決算ハイライト

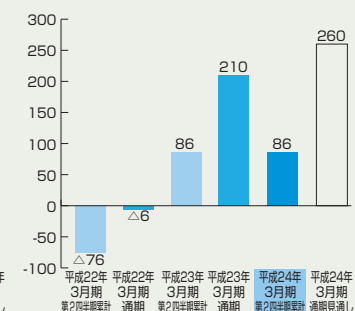
● 売上高(億円)



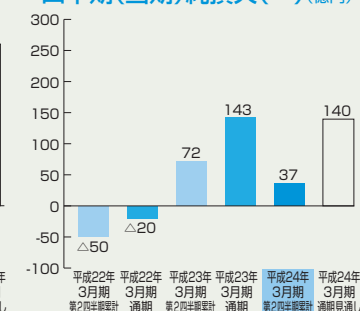
● 営業利益又は営業損失(△)(億円)



● 経常利益又は経常損失(△)(億円)



● 四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失(△)(億円)



## Q 中期経営計画「躍進2013」の進捗と今後の課題についてお聞かせください。

**A** 当社グループは、本年4月より平成26年3月までの3年間、中期経営計画「躍進2013」に取り組んでおります。当社が創業100周年を迎える平成29年度の売上高1兆円達成に向け第1ステップとして、事業拡大による一層の成長を目指しております。

「躍進2013」では、グローバルな観点から「**現地・現物・現人**」、すなわち現地で現地の設備や材料を用いて、現地の人が経営できる体制を確立し、**成長市場を中心に事業拡大**を加速します。また新技術による**新事業の創出**や、**世界No.1事業の確立**を目指します。

### 生産関連の施策

生産関連の施策につきましては、世界各地の「もの造り」強化を加速しております。

中国では、ボールベアリング、ニードルローラベアリング、鉄道車両用軸受などの現地生産会社の生産能力を大幅に増強しております。また本年1月、中国トップクラスの軸受メーカーである洛陽LYC軸承有限公司との合弁会社**恩梯恩LYC(洛陽)精密軸承有限公司**(河南省洛陽市)を設立しました。平成24年6月より、現地自動車メーカー向けにハブベアリングやニードルローラベアリングの製造・販売を開始いたします。産業機械向けでは、本年10月、**南京恩梯恩精密機電有限公司**(江蘇省南京市)を設立しました。中国市場で需要が増加する風力発電機用や建設機械用、鉄鋼設備用をはじめとする各種軸受を平成24年10月から現地で一貫生産いたします。

インドでは南部の**チェンナイ郊外に新工場**を増設しております。平成24年4月から等速ジョイントの増産及び新たにハブベアリングを製造・販売してまいります。

ブラジルでは、**NTN do Brasil Produção de Semi-Eixos Ltda.**(サンパウロ州グアルーリョス市)で本年9月より等速ジョイントの量産を開始しました。新規受注が増加しているハブベアリングと合わせ事業を拡大しております。

米国では、自動車需要の大幅な回復に応じて、米系自動車メーカー向けハブベアリングの生産能力を増強しました。また、製造前工程である鍛造・旋削・熱処理の一貫生産を行う合弁会社**NTA PRECISION AXLE CORPORATION**(イリノイ州キャロルストリーム市)が、本年6月より生産を開始しました。

欧州では、今後、航空機用や風力発電機用など、産業機械市場向け大形軸受などの需要増加が見込まれ、NTN-SNR ROULEMENTS における生産能力を高めてまいります。

日本国内では、**株式会社NTN能登製作所**が平成24年1月より石川県で生産を開始いたします。すでに同地区で稼働している株式会社NTN羽咋製作所、株式会社NTN宝達志水製作所などと共に、産業機械用軸受の第2の生産拠点として、リスク分散と生産能力の強化を図ります。また、本年8月にはリーマンショックによる景気減速により建設に着手していなかった、**株式会社NTN赤磐製作所**の建設工事に着手しました。平成24年8月から量産を開始する予定です。

### 販売関連の施策

販売関連の施策につきましては、本年4月から、「**自動車事業本部**」「**産業機械事業本部**」両事業本部の企画機能と技術開発機能を強化すると共に、国内外の全ての生産子会社を事業本部の管轄とし、グローバルの事業推進体制を構築しました。

中国においては沿岸部から内陸部へ需要が広がっており、当社グループも販売網を強化しております。現地の有力代理店との提携を進めると共に、恩梯恩(中国)投資有限公司の新たな販売拠点として、昨年の**南京支店**に続き本年7月に**重慶支店**を設立しました。今後さらに内陸部の支店や代理店の数を拡大してまいります。

また、補修・市販市場向けの販売を強化しており、自動車向けでは

## TOPICS 1 株式会社NTN赤磐製作所で地鎮祭

株式会社NTN赤磐製作所の建設工事開始にあたり本年8月4日、岡山県赤磐市において地鎮祭を行いました。2008年9月のリーマンショック以降、工場建設を延期していましたが、世界各地の自動車及び産業機械需要の回復や拡大による各種軸受けの需要回復により工場建設に着手いたしました。

新たに株式会社NTN赤磐製作所で最新の製造技術を活用した「もの造り」を開始することでグローバル需要の増加に対する生産能力を増強いたします。



▲NTN赤磐製作所完成予想図



▲(右)鈴木会長  
(中央)井上赤磐市長  
(左)播磨執行役員

### 株式会社NTN赤磐製作所の概要

会社名：株式会社NTN赤磐製作所  
事業内容：自動車及び産業機械用軸受全般の製造・販売  
設立：2008年9月  
操業開始：2012年8月(予定)

NTN-SNRで培ったノウハウを、今後は東欧・北欧・南欧へ拡大すると共に、米州や中国での販売拡大を進めております。産業機械向けでは、設備補修サービス事業を強化することで、鉄鋼・鋁山・製紙などのプラント補修案件の販売を拡大しております。

### 研究開発関連の施策

研究開発関連の施策につきましては、本年4月に研究・開発体制を改革しました。「要素技術研究所」は「**先端技術研究所**」と改称し、将来の市場を創造するテーマを重点的に研究しております。また粉末合金やエンジニアリングプラスチックなどの材料技術の連携を強めるために「**複合材料商品事業部**」を新設しました。本年9月には金型の製造や焼結合金の高圧成形などに非常に高い技術力を持つ、**日本科学冶金株式会社**がNTNグループに加わりました。今後、同社の優れた技術を生かし、シナジー効果を創出してまいります。

また「インホイールモータシステム」や「ワンモータ型EV駆動システム」などの電気自動車（EV）向け商品の早期事業化を目指し、本年4月に「**EVシステム事業部**」を新設しました。本年10月より、当社が開発したEVシステム商品を搭載したEVを静岡県磐田市の公用車として**社会実証実験**を開始しております。今後も次世代EV用のシステム商品の開発を加速させてまいります。

グローバル事業の拡大には、世界各地の顧客ニーズに合わせた開発が重要であり、世界各地の開発体制を強化しております。中国では、本年5月に「**NTN中国技術センター**」（上海市）が稼働しました。現地における設計や評価試験などの技術対応力を強化することで、販売拡大につなげてまいります。今後はインド、ブラジルなどの開発体制も強化する予定です。

### 収益体質の強化施策

収益体質の強化施策につきましては、**自動車事業の収益改善**のため、設計、材料、生産工程などの抜本的な見直しによる原価低減を進めております。また収益性が高い**産業機械**や、**補修・市販向けの販**

**売拡大**を図り、利益率を向上させてまいります。また現地生産の拡大や材料・部品さらに設備の現地調達、現地生産品の輸入などを積極的に進め、**為替に左右されない体制作り**を加速しております。

当社グループは、新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献するため、以上の諸施策を実施することにより経営基盤の一層の強化と業務の効率化に努め、収益向上に邁進する所存でございます。

最後になりますが、当社及び当社の一部の子会社は、ベアリング（軸受）の取引に関して、本年7月に日本の公正取引委員会、本年11月に欧州委員会の立入検査を受けました。当社グループといたしましては、立入検査が行われたことを厳粛かつ真摯に受け止め、両委員会の調査に協力しております。さらに、役員および従業員の一人ひとりがコンプライアンス（法令遵守）の重要性を再認識し、日々の事業活動で実践していくよう周知徹底をはかってまいります。

株主の皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

## 「躍進2013」の重点課題

- 「現地・現物・現人」の加速
- 成長市場における事業拡大
- 世界No. 1 事業の確立、新事業の創出

## 通期の業績見通し

(億円)

|       | 当期(見通し)平成24年3月期 | 前期(実績)平成23年3月期 |
|-------|-----------------|----------------|
| 売上高   | 5,750           | 5,300          |
| 営業利益  | 300             | 245            |
| 営業利益率 | 5.2%            | 4.6%           |
| 経常利益  | 260             | 210            |
| 当期純利益 | 140             | 143            |

## TOPICS



### 南京恩梯恩精密機電有限公司設立に向けて調印式を開催

本年9月8日に、中国「南京恩梯恩精密機電有限公司」の会社設立にあたり、中国江蘇省南京市で南京経済技術開発区と調印式を行いました。南京市の楊書記をはじめとする政府関係者など多数の来賓をお迎えし、総勢200名以上に及び参列者のもと盛大に執り行われました。

これまで中国においては、「上海恩梯恩精密機電有限公司」や「廣州恩梯恩裕隆傳動系統有限公司」、「恩梯恩LYC(洛陽)精密軸承有限公司」など8つの生産拠点を設立し、主に自動車用の軸受や等速ジョイントの生産体制を強化してまいりました。このたび設立する南京恩梯恩精密機電有限公司は、中国市場で需要が増加する風力発電機や建設機械、鉄鋼設備をはじめとする産業機械用の各種軸受を一貫生産いたします。



▲南京恩梯恩精密機電有限公司完成予想図



▲調印式

### 南京恩梯恩精密機電有限公司の概要

会社名：南京恩梯恩精密機電有限公司  
 事業内容：産業機械用軸受、機械器具及びその部品の製造・販売  
 設立：2011年10月  
 操業開始：2012年10月（予定）

## 次世代EVを支えるNTNの各種新システム

### ●インホイールモータシステム

独自技術で電力消費を低減し  
安定・安全性を向上

モータ、減速機、ハブベアリング及び各種センサから構成されるインホイールモータ、センサ情報に連動した制御システム（インバータ含む）を組み入れました。

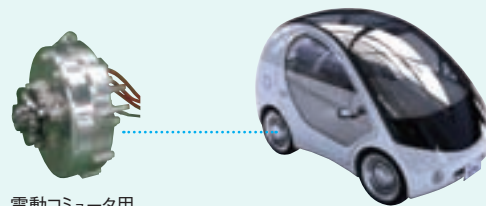


インホイールモータ

### ●電動コミュタ用インホイールモータシステム

インホイールモータをホイール内に収納し、  
車両設計自由度を向上

買い物・通勤などの近距離走行、高齢者向け、一人または二人乗の電動コミュタなどでの活用が期待されています。



電動コミュタ用  
インホイールモータ

### ●自動変速機付「ワンモータ型EV駆動システム」

独自の自動2段変速機構により  
効率及び走行性能を向上

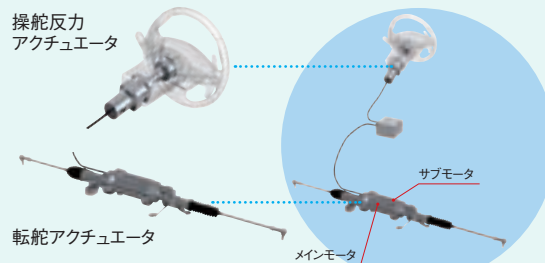
駆動モータ、自動2段変速機、ディファレンシャル及びインバータで構成。等速ジョイントやハブベアリングを加えた「NTNワンモータ型EVパワートレイン」として提案・提供します。



### ●ステアバイワイヤ操舵システム

高機能（操縦安定性及び燃費向上）と  
安全性を確保

ハンドル操作を電気信号に変えてタイヤの転舵角をコントロールします。サブモータを装備し、メインモータ故障時にもサブモータに瞬時に切り替えて安全性を確保します。



# テム事業の展開

## 次世代EVシステムの実証実験を磐田市で開始

本年10月17日、静岡県磐田市役所において、当社が開発したEVシステム商品搭載の改造電気自動車（以下、コンバートEV\*）の貸与式を開催しました。

コンバートEV貸与式



鈴木会長（右）と  
タジマモーターコーポレーション  
田嶋会長（中央）から  
渡部市長（左）へキーを手渡し

実証実験に用いる車両は、『インホイールモータシステム』を搭載したコンバートEVと、『オンボード駆動システム』を搭載したコンバートEVの2台。公道におけるコンバートEV用の『インホイールモータシステム』の実証実験は世界で初めてとなります。

世界最軽量級の減速機内蔵モータユニットを、1台はホイールの中（インホイール）に、もう1台は車両側（オンボード）に搭載し、ともにモータ駆動力を適正に制御するシステム（インバータ含む）を組み入れることで、安全性を第一に配慮した確実に安定した走行を実現するシステムです。

この度、1年間にわたり磐田市の公用車\*\*として使用いただくことにより、NTNは公道走行におけるコンバートEVの電費向上に関するデータの収集・分析を行います。また左右輪を独立制御できる次世代EVとして、市場に求められる車両調査（各種集配用、営業用他）や磐田市に適したEV仕様及び充電インフラの整備等について調査するための社会実証実験を実施します。

\*コンバートEVは、内燃機関自動車のエンジンを電動モータに交換し、バッテリーを搭載して改造したEVのこと。

\*\*今回磐田市に貸与する公用車は、磐田市内でEVの開発を行っている（株）タジマモーターコーポレーションが製作。



インホイールモータシステムと搭載車両



オンボード駆動システムと搭載車両

## 「電気自動車開発技術展（EVEX）2011」に出展

本年10月18日～20日の3日間、パシフィコ横浜にて「電気自動車開発技術展（Electric Vehicle Development Technology Exhibition: EVEX）2011」が開催され、当社は「次世代の車を支えるNTNの最先端テクノロジー」をテーマに出展しました。

当社ブースでは、「電動通勤用インホイールモータ」を搭載した試験車両をはじめ、「インホイールモータシステム」、「ワンモータ型EV駆動システム」、「ステアバイワイヤ操舵システム」など、次世代EVに対するシステム商品を中心に紹介しました。



次世代EV用  
「ステアバイワイヤ  
操舵システム」

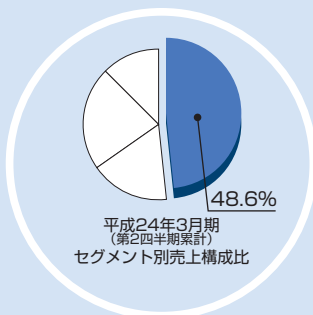
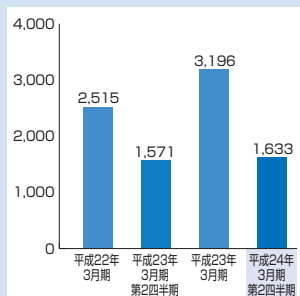


EVシステム関連の  
新商品を中心に展示  
した当社ブース

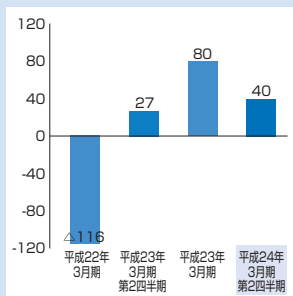
## 日本

販売につきましては、自動車市場向けは東日本大震災の影響による客先需要の減少などにより全般的に減少しました。産業機械市場向けは建設機械向けや工作機械向けなどが増加し、補修・市販市場向けも増加しました。また、輸出向けも、客先需要の回復などにより全ての地域向けで増加しました。この結果、売上高は163,339百万円（前年同期比3.9%増）となりました。セグメント利益につきましては、為替の影響もありましたが、販売増加の効果などにより4,042百万円（前年同期比47.3%増）となりました。

### 売上高推移(億円)



### セグメント利益推移(億円)



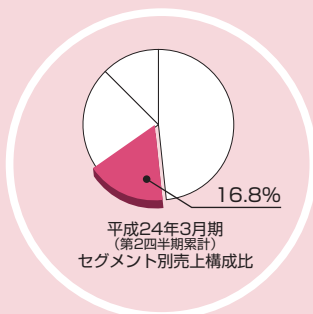
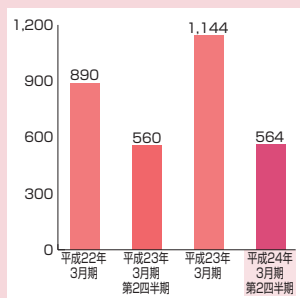
### 「現地・現物・現人」によるグローバル化の加速

- ・株式会社NTN能登製作所の生産開始準備
- ・株式会社NTN赤磐製作所の建設着手
- ・EVシステム事業部の新設
- ・先端技術研究所への改称
- ・複合材料商品事業部の新設
- ・世界QCサークル大会の開催

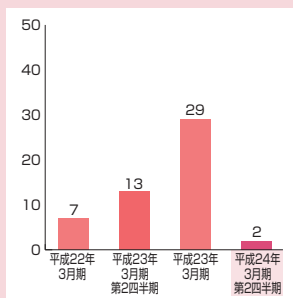
## 米州

販売につきましては、自動車市場向けは客先需要の回復などにより全般的に増加しました。産業機械市場向けは建設機械向けや農業機械向けが増加し、補修・市販市場向けも増加しました。しかし、為替の影響により売上高は前年同期並みの56,429百万円（前年同期比0.6%増）となり、セグメント利益は228百万円（前年同期比83.4%減）となりました。

### 売上高推移(億円)



### セグメント利益推移(億円)



### 「現地・現物・現人」によるグローバル化の加速

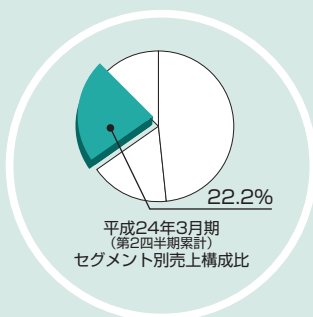
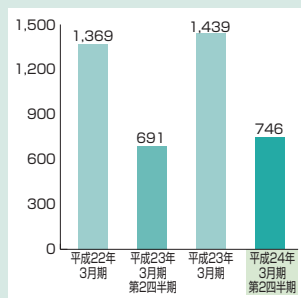
- ・NTA PRECISION AXLE CORPORATIONの生産開始
- ・ハブベアリングの生産能力増強
- ・NTNブラジル工場の等速ジョイント生産開始



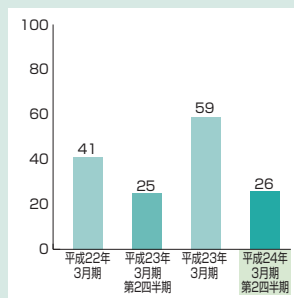
## 欧州

販売につきましては、自動車市場向けは客先需要の回復などにより全般的に増加しました。産業機械市場向けは一般機械向けや農業機械向けなどが増加し、補修・市販市場向けも増加しました。この結果、売上高は74,662百万円（前年同期比8.0%増）となりました。セグメント利益につきましては、販売増加の効果などにより2,601百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

### 売上高推移(億円)



### セグメント利益推移(億円)



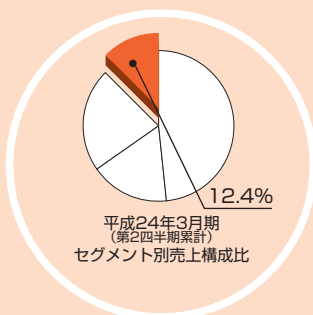
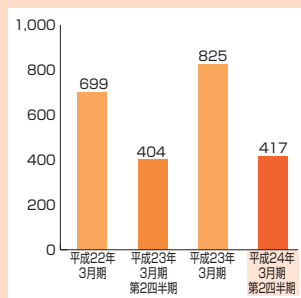
### 「現地・現物・現人」によるグローバル化の加速

- ・NTN-SNR ROULEMENTSの産業機械市場向け生産能力増強
- ・東欧での事業強化

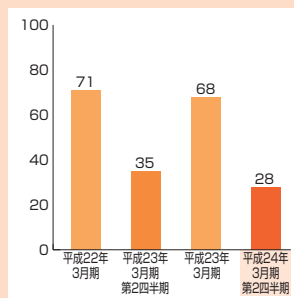
## アジア他

販売につきましては、自動車市場向けは中国、その他アジア地域ともに客先需要の回復などにより全般的に増加しました。産業機械市場向けは風力発電機向け、鉄道車両向けや建設機械向けなどが増加し、補修・市販市場向けも増加しました。この結果、売上高は41,734百万円（前年同期比3.2%増）となりました。セグメント利益につきましては、販売増加の効果はありましたが、為替の影響などにより2,805百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

### 売上高推移(億円)



### セグメント利益推移(億円)



### 「現地・現物・現人」によるグローバル化の加速

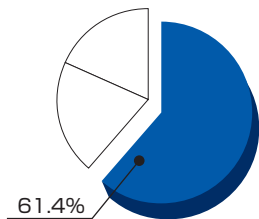
- ・恩梯恩LYC(洛陽)精密軸承有限公司の設立
- ・南京恩梯恩精密機電有限公司の設立
- ・重慶支店の設立
- ・NTN中国技術センターの稼働
- ・インドチェンナイ新工場の建設

### 営業概況

#### 震災の影響で日本では販売が減少

欧州などでは販売が増加しましたが、日本では東日本大震災の影響による客先需要の減少などにより販売が減少しました。この結果、売上高は163,400百万円（前年同期比4.7%減）となりました。営業損益につきましては、販売減少の影響もあり1,496百万円の営業損失（前年同期は1,336百万円の営業利益）となりました。

平成24年3月期（第2四半期累計）  
自動車市場向け 売上構成比



### 営業概況

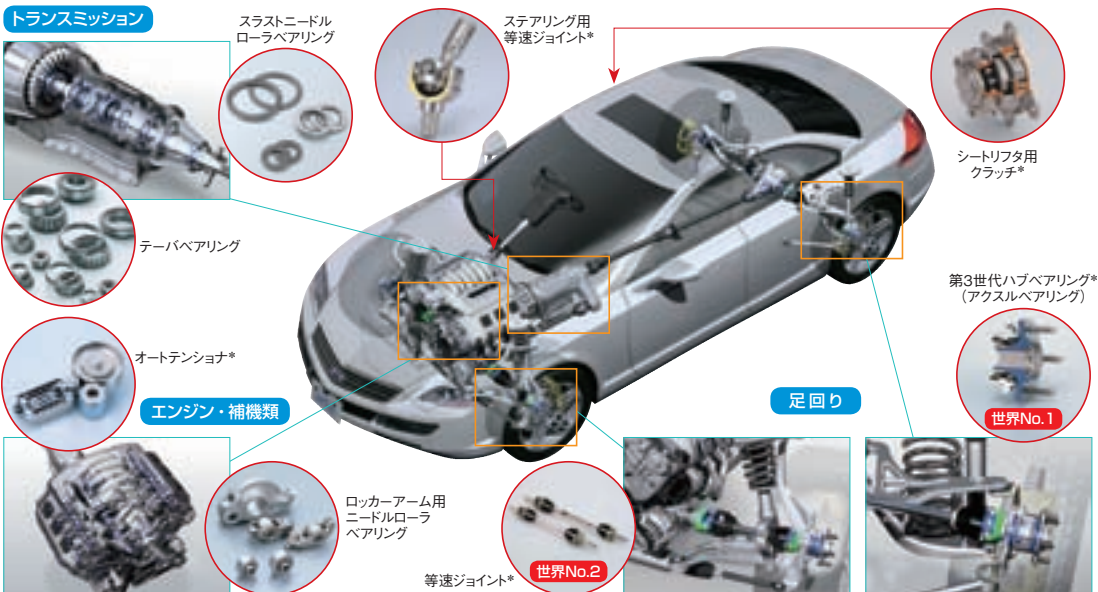
#### 全般的な需要回復によ

建設機械、工作機械、農業機械向けなどの全般的な需要回復により日本、米州、欧州、アジア他の各地域で販売が増加しました。この結果、売上高は54,618百万円（前年同期比14.2%増）となりました。営業利益につきましては、販売増加の効果もあり2,343百万円（前年同期比201.2%増）となりました。

### 自動車

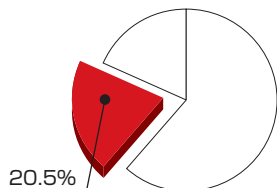
NTNのベアリングや等速ジョイントは、目に見えないところで自動車の安全で快適な走行を支え、さらに燃料資源の効率的な消費にも貢献しています。小型・軽量・低トルク化に加え、NTN-SNRの持つ高いセンサ技術の活用やインホイールモータなど次世代自動車に向けた開発にも力を注いでいます。

なるほど、  
ここにも  
NTN。



## り各地域で販売が増加

平成24年3月期(第2四半期累計)  
産業機械市場向け 売上構成比



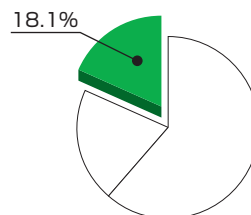
## 補修・市販市場向け

### 営業概況

## 各地域で客先需要の回復などにより販売が増加

日本、米州、欧州、アジア他の各地域で客先需要の回復などにより販売が増加しました。この結果、売上高は48,047百万円(前年同期比15.6%増)となりました。営業利益につきましては、販売増加の効果もあり9,874百万円(前年同期比18.1%増)となりました。

平成24年3月期(第2四半期累計)  
補修・市販市場向け売上構成比

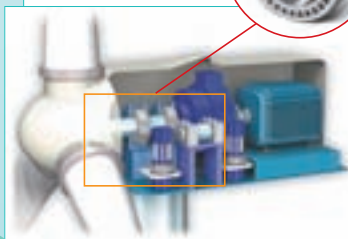


なるほど、  
ここにも  
NTN。

### 風力発電 (風力発電機用軸受)

風力発電に使用される軸受のすべて(主軸用・増減速機用・発電機用など)を製造しています。風力発電は、CO<sub>2</sub>を排出しないクリーンエネルギーを供給することから世界的に需要が拡大しており、特に当社の商品は高い信頼性と長寿命などで、風力発電機メーカーから高く評価されています。

主軸用軸受\*  
外径：1,580mm



風力発電機ナセル部

なるほど、  
ここにも  
NTN。

### 新幹線 (鉄道車両用軸受)

世界中で鉄道車両用軸受の需要が拡大している中、当社は鉄道車両向けの軸受到力を入れています。鉄道車両用軸受は使用環境が厳しく、高度な安全性・信頼性が求められます。当社の軸受は日本の新幹線やフランスのTGVをはじめ世界各国の高速鉄道車両に採用されており、品質と技術力の高さが評価されています。



新幹線N700系  
鉄道車両用軸受\*



TGV鉄道車両用軸受\*  
外径：250mm

©NTN/NSR/Graphic Obsession

なるほど、  
ここにも  
NTN。

### 航空機 (ジェット・エンジン用軸受)

非常に高い精度と回転が要求される航空機の主軸エンジンに使用する軸受をグローバルで供給し、世界の大手エンジンメーカーをはじめ国内外の航空機関連メーカーから高い信頼を得ています。航空機メーカーでは、地球環境問題に対応するため、従来の機種に比べて燃費効率の高い新型機や機材の小型化の需要が高まっており、航空機用軸受の需要は大きく伸びることが期待されています。

ジェットエンジン用軸受  
外径：527mm



# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目            | 当第2四半期<br>(平成23年9月30日) | 前期<br>(平成23年3月31日) |
|---------------|------------------------|--------------------|
| <b>(資産の部)</b> |                        |                    |
| 流動資産          | 311,554                | 318,694            |
| 現金及び預金        | 30,240                 | 33,415             |
| 受取手形及び売掛金     | 106,705                | 109,721            |
| 有価証券          | 3,000                  | 3,000              |
| 商品及び製品        | 75,300                 | 73,762             |
| 仕掛品           | 40,753                 | 39,063             |
| 原材料及び貯蔵品      | 24,421                 | 24,159             |
| 繰延税金資産        | 6,070                  | 6,132              |
| 短期貸付金         | 241                    | 5,305              |
| その他           | 25,365                 | 24,782             |
| 貸倒引当金         | △542                   | △647               |
| 固定資産          | 308,068                | 313,306            |
| 有形固定資産        | 241,085                | 246,131            |
| 建物及び構築物(純額)   | 64,635                 | 64,172             |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 120,804                | 131,375            |
| その他(純額)       | 55,645                 | 50,583             |
| 無形固定資産        | 2,612                  | 2,989              |
| 投資その他の資産      | 64,370                 | 64,186             |
| 投資有価証券        | 37,198                 | 38,265             |
| 繰延税金資産        | 25,382                 | 24,214             |
| その他           | 1,969                  | 1,839              |
| 貸倒引当金         | △179                   | △132               |
| <b>資産合計</b>   | <b>619,623</b>         | <b>632,000</b>     |

(単位:百万円)

| 科目             | 当第2四半期<br>(平成23年9月30日) | 前期<br>(平成23年3月31日) |
|----------------|------------------------|--------------------|
| <b>(負債の部)</b>  |                        |                    |
| 流動負債           | 267,598                | 269,623            |
| 支払手形及び買掛金      | 106,858                | 110,205            |
| 短期借入金          | 116,812                | 114,236            |
| 未払法人税等         | 1,896                  | 3,743              |
| 役員賞与引当金        | 79                     | 185                |
| その他            | 41,952                 | 41,252             |
| 固定負債           | 151,987                | 152,024            |
| 社債             | 10,000                 | 10,000             |
| 長期借入金          | 101,086                | 99,047             |
| 退職給付引当金        | 30,396                 | 30,833             |
| 製品補償引当金        | 838                    | 845                |
| その他            | 9,666                  | 11,297             |
| <b>負債合計</b>    | <b>419,586</b>         | <b>421,648</b>     |
| <b>(純資産の部)</b> |                        |                    |
| 株主資本           | 235,105                | 234,036            |
| 資本金            | 54,346                 | 54,346             |
| 資本剰余金          | 67,417                 | 67,417             |
| 利益剰余金          | 114,102                | 113,030            |
| 自己株式           | △761                   | △757               |
| その他の包括利益累計額    | △46,820                | △34,115            |
| その他有価証券評価差額金   | 550                    | 2,136              |
| 為替換算調整勘定       | △44,999                | △33,679            |
| 退職給付に係る調整額     | △2,371                 | △2,572             |
| 少数株主持分         | 11,752                 | 10,430             |
| <b>純資産合計</b>   | <b>200,036</b>         | <b>210,352</b>     |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>619,623</b>         | <b>632,000</b>     |

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科 目                 | 当第2四半期(累計)                     | 前第2四半期(累計)                     |
|---------------------|--------------------------------|--------------------------------|
|                     | [平成23年4月 1日から<br>平成23年9月30日まで] | [平成22年4月 1日から<br>平成22年9月30日まで] |
| 売上高                 | 266,066                        | 260,764                        |
| 売上原価                | 220,268                        | 216,789                        |
| 売上総利益               | 45,797                         | 43,974                         |
| 販売費及び一般管理費          | 35,075                         | 33,498                         |
| 営業利益                | 10,722                         | 10,476                         |
| 営業外収益               | 2,225                          | 2,193                          |
| 受取利息                | 133                            | 101                            |
| 受取配当金               | 410                            | 249                            |
| 持分法による投資利益          | 503                            | 257                            |
| 受取技術料               | 453                            | 460                            |
| その他                 | 724                            | 1,123                          |
| 営業外費用               | 4,295                          | 4,064                          |
| 支払利息                | 1,659                          | 1,673                          |
| 為替差損                | 986                            | 1,034                          |
| その他                 | 1,648                          | 1,355                          |
| 経常利益                | 8,652                          | 8,604                          |
| 特別利益                | —                              | 3,012                          |
| 投資有価証券売却益           | —                              | 1,511                          |
| 負ののれん発生益            | —                              | 1,202                          |
| 株式割当益               | —                              | 298                            |
| 特別損失                | 2,171                          | 153                            |
| 地震関連費用              | 743                            | —                              |
| 投資有価証券評価損           | 740                            | 153                            |
| 事業再編費用              | 580                            | —                              |
| 固定資産売却損             | 107                            | —                              |
| 税金等調整前四半期純利益        | 6,480                          | 11,464                         |
| 法人税等                | 2,196                          | 3,438                          |
| 少数株主損益調整前<br>四半期純利益 | 4,284                          | 8,025                          |
| 少数株主利益              | 559                            | 763                            |
| 四半期純利益              | 3,725                          | 7,262                          |

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科 目                  | 当第2四半期(累計)                     | 前第2四半期(累計)                     |
|----------------------|--------------------------------|--------------------------------|
|                      | [平成23年4月 1日から<br>平成23年9月30日まで] | [平成22年4月 1日から<br>平成22年9月30日まで] |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 4,655                          | 24,378                         |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △25,742                        | △16,334                        |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | 10,434                         | △5,826                         |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額     | 2,013                          | 1,664                          |
| 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)  | △8,639                         | 3,882                          |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 40,081                         | 32,758                         |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 107                            | —                              |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高     | 31,549                         | 36,641                         |

## 配当に関する方針

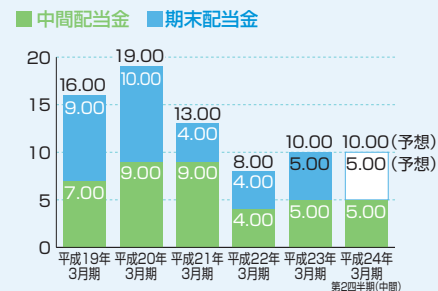
当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要方針の一つと考えております。配当につきましては、業績、配当性向、経営環境等を勘案し、中長期的な視点から安定的に継続することを基本方針としております。内部留保資金につきましては、将来の国内外における事業展開などに充當いたします。

当期につきましては、上記の基本方針を踏まえ総合的に勘案しました結果、中間配当金につきましては1株当たり5円とさせていただきます。

### ● 中間配当金

1株当たり  
金5円

### ◇ 配当金の推移 (円)



## 自動車用商品

### トランスミッション用『開放形低トルク深溝玉軸受』

高い軸受性能と回転トルク25%低減を両立

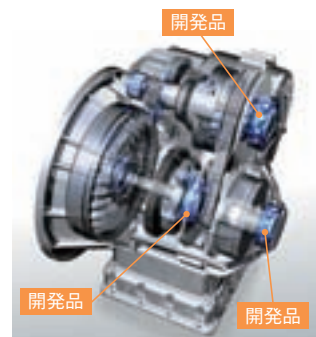
近年、自動車関連メーカーは環境への配慮によるCO<sub>2</sub>削減や低燃費化から、トランスミッション内の油量削減に取り組んでおり、軸受の潤滑方式も軸受の一部が常に油につかっている「油浴（ゆよく）方式」から、油につからない「噴霧潤滑（跳ねかけ）方式」に移行する傾向にあります。

当社では、噴霧潤滑方式における低トルク化を開発課題として、軸受保持器ポケット部に新形状を採用し、軸受の寿命を含めた性能はそのままに低トルク化を実現しました。

今回開発した「開放形低トルク深溝玉軸受」は、従来品に比べて回転トルクを25%低減すると共に、少ない油量状態においても十分な性能を発揮することで、低燃費・環境負荷低減に寄与します。



開放形低トルク深溝玉軸受  
外径：40mm～140mm



開発品

開発品

## 産業機械用商品

### 業界初『IC（アイシー）タグ内蔵軸受』を開発

軸受本体への電子情報記録が可能に

軸受の品質情報、定期的な補修・点検時の管理情報を電子情報として、軸受本体へ直接記録できる「ICタグ内蔵軸受」を業界で初めて開発しました。管理情報はユーザーごとに設定でき、点検記録だけでなくさまざまな情報も読み書きすることができます。

建設機械や鉱山機械、航空機、鉄道車両、風力発電機等に使われる軸受は、定期的な補修・点検の際、軸受の検査実施日、稼動時間などが記録されます。長期間の使用により繰り返し点検が行われるため、台帳による情報管理は煩雑で情報紛失の恐れもあり、効率的な管理手法が求められていました。解決策として、これまでICタグの活用が試されてきましたが、従来のICタグは金属に埋め込まれた状態では読み書きができず、またサイズの問題で実用化が進んでいませんでした。

今回、特殊なICタグおよび専用のリーダーライター（情報読み書き）装置を使用することでICタグの読み書きを可能にしました。なおICタグは軸受内に埋め込むため軸受の主要寸法は変わりません。



ICタグ内蔵軸受（例：円すいころ軸受）



専用リーダーライター

### 『圧延機ロールネック用軸受』を開発

耐荷重性、負荷容量、密封性が大幅向上

鉄鋼設備における圧延機のロールネック用軸受は運転時の振動・衝撃・重荷重に加え、冷却水や粉塵等の過酷な環境下で使用されるため、軸受には高い信頼性が求められます。

このため当社では、従来品の内部設計を見直すことで、内外輪ところの形状を工夫して接触する圧力の均等化と高負荷容量を実現する最適設計を行い、従来比2倍以上の世界最高水準の耐荷重性能と、従来比1.8倍の軸受寿命を達成しました。また、シール設計についてもコンパクトとしつつ、密封性を大幅に向上させました。



ULTAGE 密封形4列円すいころ軸受  
外径：220mm～844mm



## ■ 主な事業所 (平成23年9月30日現在)

|                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| 本 社               | 大阪市西区京町堀1丁目3番17号        |
| <b>【自動車事業本部】</b>  |                         |
| 関東自動車支店           | 東京都品川区西五反田7丁目22番17号     |
| 宇都宮自動車支店          | 栃木県宇都宮市馬場通り2丁目1番1号      |
| 北関東自動車支店          | 群馬県太田市東本町2番31号          |
| 東海自動車支店           | 愛知県安城市三河安城町1丁目4番地4      |
| 浜松自動車支店           | 浜松市中区板屋町110番地の5         |
| 大阪自動車支店           | 大阪市西区京町堀1丁目3番17号        |
| 広島自動車支店           | 広島市南区的場町1丁目2番19号        |
| 磐田製作所             | 静岡県磐田市東貝塚1578番地         |
| 岡山製作所             | 岡山県備前市畠田500番地の1         |
| <b>【産業機械事業本部】</b> |                         |
| 東北支店              | 仙台市青葉区本町1丁目5番28号        |
| 東京支店              | 東京都品川区西五反田7丁目22番17号     |
| 西関東支店             | 相模原市中央区中央3丁目14番7号       |
| 名古屋支店             | 名古屋市中区栄3丁目2番3号          |
| 大阪支店              | 大阪市西区京町堀1丁目3番17号        |
| 広島支店              | 広島市南区的場町1丁目2番19号        |
| 九州支店              | 北九州市小倉北区上到津2丁目4番19号     |
| 桑名製作所             | 三重県桑名市大字東方字土島2454番地     |
| 長野製作所             | 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14017-11 |

## ■ 主な関係会社 (平成23年9月30日現在)

### ● 主な連結子会社

株式会社NTN金剛製作所  
NTN精密樹脂株式会社  
株式会社NTN三重製作所  
株式会社NTN宝達志水製作所  
株式会社NTN能登製作所  
NTN USA CORP.(アメリカ)  
NTN BEARING CORP. OF AMERICA(アメリカ)  
NTN DRIVESHAFT, INC.(アメリカ)  
AMERICAN NTN BEARING MFG. CORP.(アメリカ)  
NTN-BOWER CORP.(アメリカ)  
NTN BEARING CORP. OF CANADA LTD.(カナダ)  
NTN do Brasil Produção de Semi-Eixos Ltda.(ブラジル)  
NTN Wälzlager(Europa)G.m.b.H.(ドイツ)  
NTN Kugellagerfabrik(Deutschland)G.m.b.H.(ドイツ)  
NTN TRANSMISSIONS EUROPE(フランス)  
NTN-SNR ROULEMENTS(フランス)  
恩梯恩(中国)投資有限公司(中国)  
上海恩梯恩精密機電有限公司(中国)  
恩梯恩LYC(洛陽)精密軸承有限公司(中国)  
NTN BEARING-SINGAPORE (PTE) LTD.(シンガポール)  
NTN MANUFACTURING (THAILAND) CO., LTD.(タイ)

### ● 主な持分法適用関連会社

IFA-Antriebstechnik G.m.b.H.(ドイツ)  
東培工業股份有限公司(台湾)  
台惟工業股份有限公司(台湾)



## ● 株主メモ ●

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 事業年度終了後3か月内
- 基準日 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とします。その他必要あるときは、あらかじめ公告して、基準日を定めます。
- 剰余金の配当 3月31日  
受領株主確定日
- 中間配当 9月30日  
受領株主確定日
- 公告方法 電子公告  
ただし、電子公告によることのできない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載の場合のホームページアドレス  
《<http://www.ntn.co.jp>》
- 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関  
〒100-8212  
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

- 同 連 絡 先 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話(通話料無料) 0120-094-777
- ご 注 意 1. 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。  
2. 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。  
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。